

2018年8月号 No.105 レポート：国際交流員ジョセフ・ルンタオ

アメリカ合衆国出身、霧島市国際交流員のジョセフです。8月2日で、霧島市の国際交流員としての任期が終了となりました。寂しいですが、これが私にとって最後の活動ページとなります。3年間、本当にお世話になりました！寂しいお別れの言葉はここまでにして、先月の霧島市国際交流員の活動をいくつか紹介します！

霧島市こどもセンター 「うさぎのへや」



7月2日中国出身の国際交流員リ・ディと韓国出身の国際交流員ジョ・ヒウンと私は、霧島市こどもセンターで2、3歳児とその保護者を対象に国際交流をしてきました。

それぞれの言語で色、形、動物の鳴き声を使ったゲームをし、日本を含めた4カ国に共通してあるジャンケンも各国のやり方を紹介しました。2、3歳の子どもたちは、「日本」という概念をまだ持っていないでしょうが、私たちが紹介した「外国」の遊びで一緒に交流することができて楽しい時間となりました。

ティー・セレモニー (送別茶会)

7月4日、霧島市に来てから3年間勉強した裏千家の点前を、霧島市国際交流員としての最後のあいさつとして国分公民館の1階で披露しました。

今までにも世界の味ランチや他のイベントで点前をしたことはありましたが、やはり「これが私の最後のイベントだ」と思うと、いつもの点前と違いました。寂しい気持ち、複雑な感情もありましたが、たくさんの方々がこのイベント開催のために協力してくださり、私が行ってきた英語や文化講座などのイベントに参加してくださった方々がたくさん来てくださいました。日本の文化である茶道で皆さんに感謝を表すことができ、本当に良かったです。忘れられない思い出になりました。



この3年間、他の国際交流員と交代で自分たちの業務についてこの活動ページで紹介することは楽しかったですが、残念ながら私が書くのはここまでです。今まで読んでくださり、本当にありがとうございました。次の英語圏国際交流員が書く活動ページをお楽しみに！